

あまがすき

We Love AMA

- 第5回コミュニティ交流会
～世代を超えて繋がる地域づくり～
- 登録団体「ねこネットあま」の紹介
- 新規登録・登録団体の活動紹介
- あまのあれこれ事典
「すぎし思い出」
- 市民活動センター移転のお知らせ

■ 第5回 コミュニティ交流会のご報告 ■

2月4日に開催された「第5回コミュニティ交流会」。今回のテーマは「世代を超えて繋がる地域づくり」。コミュニティ協議会の他、市民活動団体や一般市民の皆さんが参加され、活発な意見交換が行われました。

第1部では、コミュニティ協議会の役割の説明や市内のコミュニティ協議会の状況を報告。また、今後の活動の参考となるように、他市町の地域コミュニティの事例紹介を行いました。



第1部の会場の様子

第2部ワークショップ(ワールドカフェ※)タイムの様子



※ワールドカフェとは、カフェのようなくつろいだ雰囲気の中で行う会議のこと。4～5人ずつに分かれ、グループ毎で対話し、途中メンバーを入れ替えながら対話を繰り返す手法のこと。

第2部のワークショップ(ワールドカフェ※)タイムでは、グループ毎のテーマに沿って意見交換が行われました。テーマは「後継者」「運営」「連携」「情報発信」「その他」の5つ。参加者は関心のあるテーマに分かれて、うまく運営できていることや自慢できること、困っていることなどを話し合う中で、様々な意見やアイデアが出ました。

どのグループも、前向きな発言が多く、活動のヒントにつながったとの声もありました。その後の「ハーベストタイム」ではワークショップのまとめを行い、団体内で解決が難しければ、様々な人とつながり、外部の資源や専門家の力を借りてもいいとの気づきが得られました。



ハーベストタイムの様子



参加者の声(アンケート結果より) 🌸🌸🌸

第1部では「若い人の参加があり、交流することができた」「コミュニティと自治会の違いがわかった」「様々な事例が今後の活動の参考になった」などの意見がありました。

第2部では「他団体の活動状況がわかった」「意見やアイデアが聞けた」「アドバイスももらった」など前向きな感想が多く、96%の参加者から参考になったとの回答が得られました。また、「話し合う時間が足りなかった」との声とともに、約半数の人から年に2回コミュニティ交流会を開催してほしいとの要望がありました。

🌸 今回の講師林加代子先生からのメッセージ 🌸🌸🌸🌸🌸🌸

「3年に及ぶコロナ禍もやっと明けて、みなさんのご活動もいよいよ再開！ですね。活動を縮小していたときに「本当にやりたいこと」が見えてきたと思います。実行の際には、ぜひ、交流会でつながったご縁を思い出してください。きっと、コラボできること、助けてくれる人がいますよ。」





2012年1月1日、猫好きの数人の主婦が集まりあま市で発足。以来10年以上あま市と蟹江町を中心に、地域の猫の命を守り、殺処分ゼロを目指す活動を続けています。長年の活動が認められ、愛知県から「令和4年度ボランティア活動功労者」として表彰されました。

今回は「ねこネットあま」の主な活動を紹介いたします。



◆『TNR』と『地域猫活動』のサポート◆

『TNR』とは、飼い主のいない猫を一時保護(Trap)し、不妊去勢手術を施し(Neuter)、元の場所にもどす(Return)こと。手術を受けた猫は、目印として耳の一部をカットされ、通称「さくら猫」と呼ばれています。不幸な命が増えないように、このような活動が行われています。



『地域猫活動』とは、地域ぐるみで猫のお世話をすること。『TNR』された飼い主のいない猫が、給餌や餌場の清掃、糞尿の始末などのお世話を受け、人と一緒に地域で生きていきます。

ねこネットあまは、サポートを含め年間 200~250 頭前後の『TNR』を行い、『地域猫活動』のアドバイスと見守りをしています。

◆いろいろなサポート◆

ねこネットあまは、個人からの猫の引き取りはしていませんが、一般の方が猫を安全に保護・運搬できるよう、動物を傷つけない仕様様の保護器やケージのレンタル、新しい飼い主探しのアドバイス、譲渡のお手伝いをしています。

保護器のようす



そのほか、病気や避妊去勢手術のこと、野良猫のこと、逃げてしまった猫のことなど、様々な相談に対応しています。



🐾 センターからのコメント 🐾



ブログはこちら

ねこネットあまの活動は休みなく行われています。その原動力は「猫への深い愛情」と「小さな命を守りたい強い思い」だと感じました。もっと「小さな命」に対する理解が地域に広がって、猫と人が共生できるあま市になってほしいと思いました。



譲渡会の情報や活動の詳細は「ねこネットあま」のブログや Instagram をご覧ください。

Instagramはこちら



◆新しい飼い主探し『譲渡会』◆



七宝焼アートヴィレッジ等で定期的に『譲渡会』を開催して、保護された猫の里親を探しています。

『譲渡会』には会員や一般の方が保護して育てた猫、動物愛護センターから預託された子猫、多頭飼育崩壊の猫などが集まります。

里親の申し込みがあると、里親や先住動物との相性や、猫たちが新しい環境でストレスなく過ごせるかを確認するため、しばらく一緒に暮らす「トライアル」を行ってから譲渡をしています。

チラシや SNS を利用して『譲渡会』を広報することで、皆さんの関心が高まり、今ではサポートを含め年間約250頭の猫を新しい飼い主の元へ送り出しています。



七宝焼アートヴィレッジにて行われる「譲渡会」

◆『ねこネットあま』からメッセージ◆

野良猫になる理由のひとつに、飼っていた猫の遺棄があります。生き物を飼育する時は、病気になっても、老いても最後まで可愛がってほしいと願っています。

命を扱うことは苦労もたくさんありますが、子猫はもちろん成猫やハンディキャップのある猫の里親が決まった時はとても嬉しく、また譲渡先から猫たちが可愛がられている様子を聞くと、とても励みになります。

小さな命を大切にすることは、人にやさしい心を育みます。これからも猫と人が共に生きていけるよう活動を続けていきます。

あま×SDGs

NEW!

as is ~こころのいばしょ~

「持続可能な開発目標(SDGs)」に関する情報収集や情報発信、イベントの開催などの啓蒙活動を通し、市民や市民活動団体、事業者などに、具体的な行動を促すことを目的として活動しています。2月26日(日)には SDGs 体験



イベント「みんなで SDGs！」を開催しました。今後も SDGs の取り組みが楽しく広がる活動を続けたいとのことです。

コミュニケーションが苦手な方を対象とした、それぞれの存在を大切にしよう居場所づくりを目的として活動しています。「話しても話さなくても大丈夫。誰かと一緒に居たいと思った時、フラットとお茶ができるような場所にしたい」とのこと。毎月第2土曜日、美和情報ふれあいセンターで開催する予定です。



NPO 法人ライフサポートみわ

活動紹介

NPO 法人ほっとネット・みわ

~シニアのポジティブな生活を応援~



地域の仲間と楽しく過ごし、新しいことにチャレンジすることが認知症予防に繋がる。そんなコンセプトのもと、講座を開催しています。講座では、iPad を使って記憶ゲームや文字の並べ替えなどの脳のトレーニングをしたり、アプリの使い方を教えています。

また、参加者全員で楽しむコミュニケーションゲームを通して、人とのふれあいも大切にしています。あま市内では、月2回、美和地区で開催しており、地域のシニアの皆さんが楽しく参加しています。



~地域の歴史と日本の伝統文化に触れる~

あま市の歴史をテーマにした、オリジナル狂言「おそそ仁王」を子どもたちに演じてもらう取り組みから始まった「あま市子ども狂言プロジェクト」。今回は、プロによる古典狂言の鑑賞会と子ども対象のワークショップを実施しました。

ワークショップで舞台にあがった子どもたちは、狂言の所作を楽しそうに体験し、日本の伝統文化に触れる良い機会となったようです。



ワークショップの様子

Tree Ring+

~使用済みカイロ回収ボックスの一部撤去について~

使用済みカイロの回収ボックスを設置していたあま市リサイクルステーション(甚目寺庁舎駐車場内)での回収は、3月末で終了しました。引き続き、甚目寺、七宝、美和の福祉センター、美和文化会館・図書館での回収は行いますので、使用済みカイロがありましたら、こちらの回収ボックスをご利用ください。

「使い捨てカイロで世界の水をきれいにする Go Green プロジェクト」に賛同して始めた活動ですが、今後は、地元あま市の水辺をきれいにする活動として継続する予定です。



■ サロン活動紹介 ■

新型コロナにより中止を余儀なくされていたサロン活動が少しずつ再開し、地域には皆さんの笑顔とともに活気が戻りつつあります。今回は、二つのサロンをご紹介します。それぞれが特色ある活動を行っています。



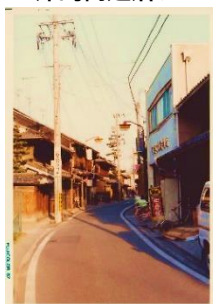
サロン木田 🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸

開催日:毎月第1木曜日 午前9時30分~11時30分
会場:木田公民館 参加費:100円
対象:木田地区にお住まいの60歳以上の方
特色:開催日が小学校の休日に重なると、子どもがお手伝いにも集まり、多世代交流の場にもなっています。

つばらボランティア 🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸

~秋竹サロン~
開催日:原則毎月第1火曜日 午前10時~11時30分
会場:秋竹地区集会所(藤島神社境内) 参加費:100円
対象:秋竹地区にお住まいの60歳以上の方
特色:スタッフが考えたプログラムを楽しみに、多くの参加者が集まります。

昭和50年代の
津島街道沿い



※古大江とは大江川の旧川筋のこと。江戸時代後期に蟹江川と大江川が一本につながったことで、これまで大江川を古大江（古江とも）呼んだ。

美和歴史民俗資料館 館長 近藤 博

「ゆげつ思ひ出」と題されたノートがある。ノートの主は、木田地区で生まれ育った杉藤さん。ただ、この杉藤さんが郷土史家として地方の歴史文化に精通していた訳ではない。ノートには、事務的にその時々（大正四年、昭和初期）の出来事が綴られているのみである。しかし、記述されたものの多くは、今となっては誰も知ることでできない史実ばかりで、大変貴重な記録である。かいつまんで見ると…。

『大正四年（一九一五）：四月三十日蛭間（津島市）の寺の開帳で木田よりも飾馬六頭を曳いて参詣。七月十一日オンカ、神社拜殿にて神酒を飲む。大正五年（一九一六）：四月八日、江東排水機（篠田悪水）が竣工。余興で花火。大正六年（一九一七）：七月二十七日古大江井筋にて高水。治水委員を招き状況を見せるも、通水の件で押し問答となり委員を川へ押し込む。八月十三日木田南部に電燈つ…』

これらから、大正四年には、虫送り（オンカ）が木田地区でも間違いないで行われていたことを知る。オンカとは、田植え後の稲に虫がつかないよう、夜、松明（たいまつ）を持って畔道をねり歩き、虫を区外に追い出す祭事のことである。また、大正六年、古大江※の高水の出来事は、村人がこの水路に役人を落としたという事実もさることながら、水問題の難しさを実感する事件で、翌日、村人数名が津島警察より呼び出しを受けた…ともある。このように木田地区の歴史はもとより、当時の人々の暮らしが垣間見られるものである。詳しくは、資料館発行のニュースレター十三号をご覧ください。

「ゆげつ思ひ出」

市民活動センター移転のお知らせ

市民活動センターは、七宝産業会館の閉館に伴い、

令和6年3月31日(日)をもちまして、七宝公民館(旧七宝市民サービスセンター)に移転いたします。移転先での業務は、**令和6年4月2日(火)**から開始します。



移転に関するお問い合わせ先 企画政策課052-444-1712(直通)/市民活動センター052-445-1900

あまテラス市民ボランティア募集

市民活動センターでは、市民ボランティアを募集しています。地域のために小さな一歩を踏み出してみませんか？また、登録団体の活動において、市民ボランティアの協力がほしいといった情報もお待ちしています。お気軽にご相談ください。

■日本語ボランティア募集

外国人に日本語を教えるお手伝い

①JJ にほんごくらぶ

会場：甚目寺公民館 日曜日10:00~11:30
水曜日19:00~20:30
土曜日10:00~11:30

②みわ日本語教室

会場：美和情報ふれあいセンター木曜日19:00~21:00
…あま市国際交流協会

■学習サポーター募集

・あま市ひとり親家庭の子ども(中学生)の

生活・学習支援事業

会場：美和/七宝/甚目寺

謝金¥3,000/1回 交通費(上限あり)

詳細は事務局へお問い合わせください

…あま市母子寡婦福祉会



たんぼぼ学習支援事務局



センター情報はこちら！

公式 LINE 登録お待ちしています☆



センターからのさまざまな最新情報をお届けします。

公式インスタグラム フォローしてね☆



メルマガ会員募集しています！

市民活動センターでは、毎月15日と30日頃にメールマガジンを配信しています。

左の QR コードを読み取りお名前とメルマガ希望とメールしてください。

ご登録をお待ちしています！



発行：あま市市民活動センター あまテラス
所在地：あま市七宝町遠島十坪 119-2 七宝産業会館 1F
TEL:052-445-1900 FAX:052-445-2030

Mail:info@ama-shiminkatsudo.jp

開館時間：9時~17時

閉館日：毎週月曜、祝日の翌日 年末年始



イベント、講座の最新情報はホームページで発信中！
URL <http://www.ama-shiminkatsudo.jp/>